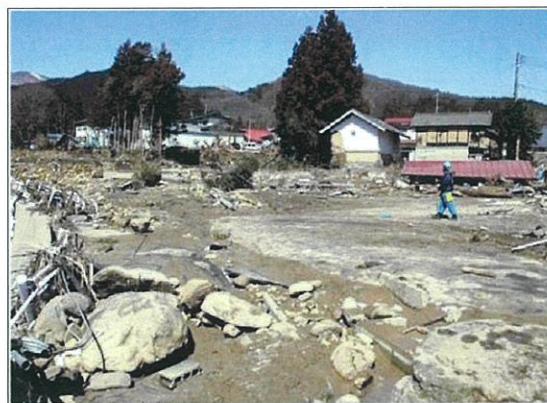


万内ため池ハザードマップ

◆ため池ハザードマップ

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が各地で発生しています。東日本大震災の際には、福島県の農業用ダム（藤沼湖）が決壊し、死者、行方不明者8名、家屋全壊22戸等の甚大な被害をもたらしました。

この「ため池ハザードマップ」は、ため池が決壊した場合に想定される浸水区域を予測し図化したもので、皆さんが安全に避難を行うために必要な情報が記載されています。



濁流が襲った藤沼湖下流の集落

写真出展：農林水産省 Web サイト
(http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/nousin/bukai/h25_1/pdf/data03_2_4_2.pdf)

◆ため池ハザードマップの見方

「ため池ハザードマップ」は、ため池の位置、浸水想定区域、周辺施設などが記載されています。

- ・マップ上の着色部分が浸水想定区域を表しています。
- ・浸水深さにより色分けされており、右表のとおりです。
- ・区分け線は洪水時の到達予想時間を示しています。
- ・避難所※及び周辺の施設を表示しています。あらかじめ避難する場所を決めておくことが重要です。

浸水深の目安		
浸水深		浸水の目安
0.5m	大人の膝までつかる程度	
1.0m	大人の腰までつかる程度	
2.0m	1階の軒下まで浸水する程度	
3.0m	2階の床下まで浸水する程度	
5.0m	2階の軒下まで浸水する程度	

※避難所（指定避難所）：災害発生などにより自宅に戻れない人が一時的に生活する「施設」のこと

第1次収容避難所：災害発生時において第1次に開設する避難所

水害時第1次収容避難所：水害発生時において第1次収容避難所を開設することが困難な場合に開設する避難所

第2次収容避難所：第1次収容避難所に収容しきれない場合において、第2次に開設する避難所

◆ため池ハザードマップのシミュレーション条件

「ため池ハザードマップ」は以下の条件によりシミュレーションしています。

- ・ため池が満水の状態で、地震または大雨により瞬時（一気）に決壊
- ・ため池の周辺に大雨が降り、周辺の河川の水位が上昇している状態
- ・ため池堤体の4方向が同時に決壊

想定を上回る気象条件下では浸水区域が拡大する可能性がありますので、必ずしもこのため池ハザードマップのとおりになるとは限りません。

◆避難の目安

- 強い地震や大雨により、ため池堤体が決壊するおそれがある場合（避難時の注意点参照）
- 市から避難勧告等が発令された場合（テレビやラジオ、防災行政無線、広報車、緊急速報メール等を通じて情報が発信されます。）

ため池が決壊することを事前に予測することは非常に困難です。

いざという場合に備えて、日頃から非常時の準備をし、避難勧告等が発令された場合には速やかに避難所に避難してください。

◆避難時の注意点

- 時間雨量20mm以上になると災害が発生するおそれがあります。
- 長雨が続き続いた場合は、地盤が緩み、災害が発生するおそれがあります。
- 歩行可能な水深は50cmとされています。ため池決壊時には水深に注意してください。
- 避難できる状況にある場合は、ハザードマップを参考に浸水想定区域を避けながら迅速に避難してください。
- 大雨時にはテレビやラジオ、防災無線等の気象情報及び避難情報等に注意し、早い段階での避難を心掛けてください。
- 強い地震が発生した場合や強雨により外出が難しい場合は、自宅の2階など、できるだけ高いところへ避難してください。

◆日頃からの維持管理の徹底

老朽化や維持管理の不備が、突発的な事故の引き金となります。日頃から適正な管理に努めましょう。

- ため池堤体の草刈り、洪水吐けの清掃の徹底
- 大雨や長雨が予想される場合は、低水位管理とするなどの工夫

◆防災関係機関連絡先

奥州市役所本庁	0197-24-2111	奥州金ヶ崎行政事務組合消防本部	0197-24-7211
前沢総合支所	0197-56-2111	奥州警察署	0197-25-0110
胆沢総合支所	0197-46-2111	奥州保健所	0197-22-2831
衣川総合支所	0197-52-3111	東北電力（緊急時）	0120-175-366

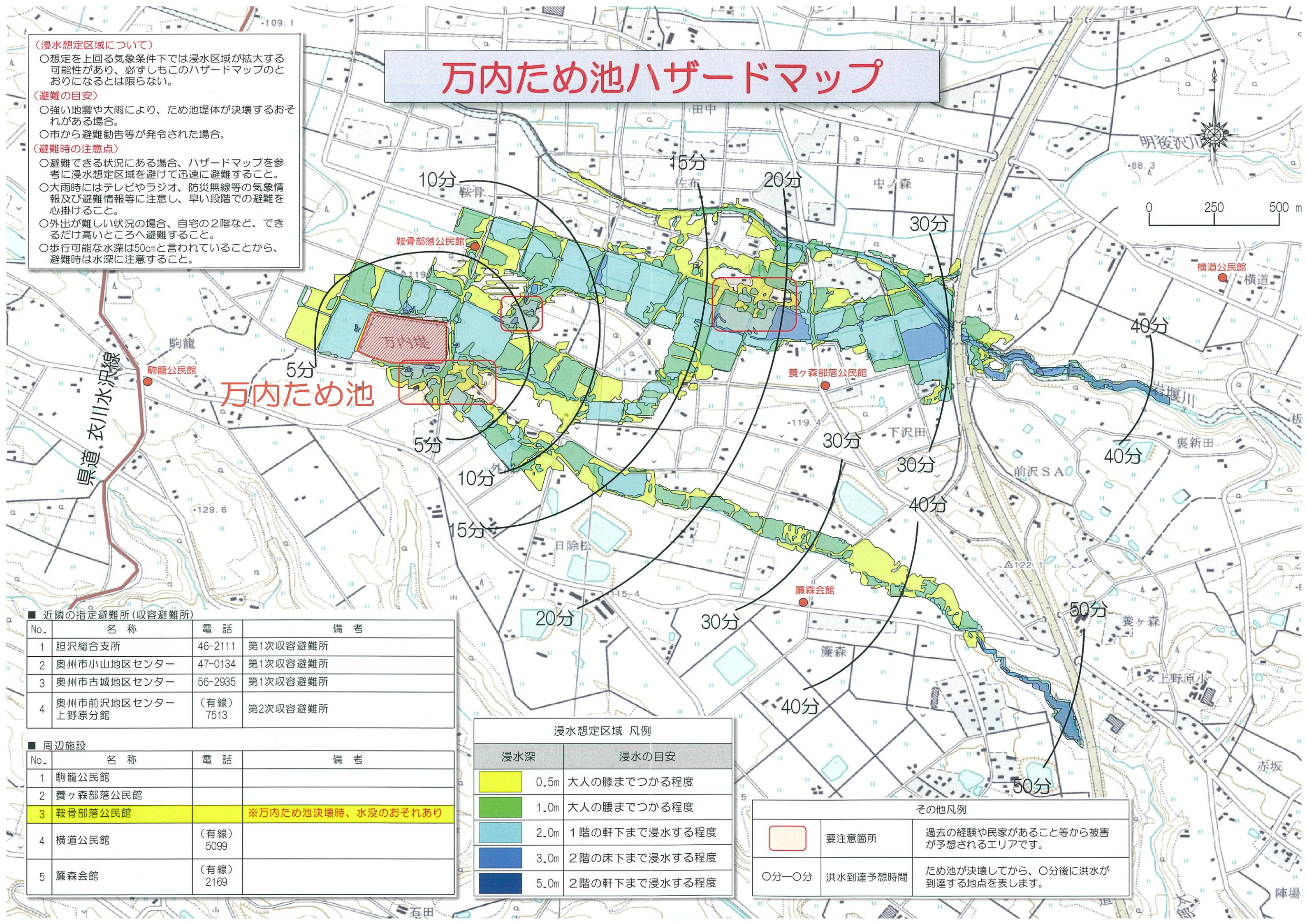
発行：奥州市 農林部 農地林務課 農村整備係
電話：0197-24-2111（内線371）

(浸水想定区域について)
○想定を上回る気象条件下では浸水区域が拡大する
可能性があり、必ずしもこのハザードマップのと
おりになるとは限らない。

(避難の目安)
○強い地震や大雨により、ため池堤体が決壊するおそ
れがある場合。
○市から避難勧告等が発令された場合。

(避難時の注意点)
○避難できる状況にある場合、ハザードマップを参
考に浸水想定区域を避けて迅速に避難すること。
○大雨時にはテレビやラジオ、防災無線等の気象情
報及び避難情報等に注意し、早い段階での避難を
心掛けること。
○外出が難しい状況の場合、自宅の2階など、でき
るだけ高いところへ避難すること。
○歩行可能な水深は50cmと言われていることから、
避難時は水深に注意すること。

万内ため池ハザードマップ



■ 近隣の指定避難所 (収容避難所)

No.	名 称	電 話	備 考
1	胆沢総合支所	46-2111	第1次収容避難所
2	奥州市小山地区センター	47-0134	第1次収容避難所
3	奥州市古城地区センター	56-2935	第1次収容避難所
4	奥州市前沢地区センター 上野原分館	(有線) 7513	第2次収容避難所

■ 周辺施設

No.	名 称	電 話	備 考
1	駒籠公民館		
2	養ヶ森部落公民館		
3	鞍骨部落公民館		※万内ため池決壊時、水没のおそれあり
4	横道公民館	(有線) 5099	
5	簾森会館	(有線) 2169	

浸水想定区域 凡例		
浸水深	浸水の目安	
	0.5m	大人の膝までつかる程度
	1.0m	大人の腰までつかる程度
	2.0m	1 階の軒下まで浸水する程度
	3.0m	2 階の床下まで浸水する程度
	5.0m	2 階の軒下まで浸水する程度

その他凡例		
	要注意箇所	過去の経験や民家があること等から被害が予想されるエリアです。
〇分—〇分	洪水到達予想時間	ため池が決壊してから、〇分後に洪水が到達する地点を表します。